

平成 16 年度岡山県のハンセン病問題対策事業

意見書提言	事業	実施時期	内容
全体統括	岡山県ハンセン病問題対策協議会	H16.8.23 H17.3.23	第1回会議 第2回会議
<p><b>個別課題の処理</b></p> <p>1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施            (1) 単なるパンフレットの配布等でなく、啓発資材を活用した語り部による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること</p>	<p>女優竹下景子氏による療養所訪問</p> <p>ハンセン病を正しく理解するための講演会開催            「人間回復、心のかけ橋を目指して」</p> <p>フォーラム開催            「ハンセン病フォーラム in OKAYAMA」</p> <p>地域交流事業            ・県民が実施する地域交流事業への補助</p> <p>語り部DVDの活用</p> <p>保健福祉部職員訪問研修</p> <p>岡山県新規採用職員訪問研修</p>	<p>H16.4.1</p> <p>H16.8.28 12:30～14:00</p> <p>H17.1.22 13:30～16:30</p> <p>H16.4～</p> <p>随時</p> <p>H16.11.22 H16.11.30</p> <p>H16.9.30 H16.10.7</p>	<p>長島愛生園、邑久光明園訪問</p> <p>場所：コンパックス岡山            参加人数：約80人            講師：金正美氏、神谷文義氏</p> <p>場所：川崎医療福祉大学記念講堂            参加人数：約800人            パネルディスカッション：            南智氏、金正美氏、小池将文氏、日野三郎氏、牧野正直氏            ミニコンサート：歌手 沢知恵</p> <p>申請件数：22件(1,484人)</p> <p>図書館等での貸出し</p> <p>邑久光明園(19人)            長島愛生園(20人)</p> <p>邑久光明園(67人)            長島愛生園(94人)</p>
<p>(2) ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと</p>	<p>再編集版啓発ビデオのテレビ放映            「人間回復の橋、心のかけ橋となれ」</p> <p>再編集版啓発ビデオの制作・配布</p>	<p>H16.8.28 15:30～16:00</p> <p>H16.8</p>	<p>山陽放送</p> <p>制作数：934本            配布先：県内の小学校・中学校・高等学校・大学・図書館</p>

意見書提言	事業	実施時期	内容
	<p>ホームページでの啓発 「みんなで描くひとつの道」 www.hansen-okayama.jp</p> <p>リーフレット、小冊子の配布</p> <p>県広報誌等による啓発 ・晴れの国ジャーナル ・グラフおかやま ・NHKテレビお知らせ ・RSKラジオ</p> <p>啓発パネルの貸し出し</p>	<p>通年</p> <p>随時</p> <p>H16.5.30 6月号 6月 H16.6.19</p> <p>随時</p>	<p>公開開始:H14.6.24 通算11万人突破</p> <p>リーフレット：30,000部 小冊子：20,000部</p> <p>「ハンセン病を正しく理解する週間」</p> <p>貸出件数：8回（市町村等）</p>
<p>(3) 道徳副読本問題が提起した偏見差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること</p>	<p>人権教育指導資料の活用 各種啓発の実施 各種研修会でビデオ視聴、指導</p>	<p>通年</p>	<p>教育庁による取組</p>
<p>(4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識涵養をさらに推進すること</p>	<p>語り部DVDの販売 交流活動の促進等</p>	<p>通年</p> <p>随時</p>	<p>制作委託会社に販売委託</p> <p>人権・同和対策課が実施する人権啓発事業等での啓発実施</p>
<p>(5) 若い世代に対する啓発は、「ハンセン病は治癒する」、「ハンセン病は感染力が弱い細菌感染症で、衛生水準の改善した今日では、ほとんど発病の可能性はない」ということをストレートに訴える</p>	<p>各啓発活動の中で配慮</p>		
<p>(6) 主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること</p>	<p>県立図書館への設置推進 長島愛生園入所者自治会、邑久光明園入所者自治会から図書の寄贈</p>	<p>H16年度</p>	<p>ハンセン病関連文献コーナーを設置：教育庁生涯学習課</p>

意見書提言	事業	実施時期	内容
<p>2 福祉増進施策の実施</p> <p>(1) 入所者を訪問し県に対する要望などの意向調査を行うこと</p>	<p>社会復帰支援員等による意向調査</p>	<p>通年</p>	<p>療養所出張相談による把握 ・両園 各2回/月</p>
<p>(2) 社会復帰に当たり入所者の参考とするため、県民に対し、社会復帰受入等に関する意識調査を行い、その結果を両園入所者に提示すること</p>	<p>ハンセン病に関する県民意識調査結果の周知</p>	<p>通年</p>	<p>ホームページへの掲載</p>
<p>(3) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと</p>	<p>社会復帰支援員による支援活動</p>	<p>通年</p>	<p>県医療ソーシャルワーカー等 ・35名 ・療養所への出張相談 ・両園 各2回/月</p>
<p>(4) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や、民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと</p>	<p>県営住宅の最優先入居</p> <p>住宅費の一部補助 「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」</p>	<p>随時</p> <p>随時</p>	<p>住宅課</p> <p>生活保護基準 (例)岡山市37,000円/月</p>
<p>(5) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと</p>	<p>個別案件ごとに対応 ・関係自治体、医師会との協議 ・ホームページ作成、研修</p> <p>医療費、介護保険利用料の補助 「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」</p>	<p>随時</p> <p>随時</p>	<p>社会復帰希望者の要望を踏まえ、関係自治体や医療機関等と連絡・調整</p>

意見書提言	事業	実施時期	内容
(6) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと	里帰り支援金の贈呈 意向を伺い個別案件ごとに対応 ・里帰り、墓参りへの支援	H16.7 H16.8.10 H16.11.5	多磨全生園岡山県人会員 里帰り支援(1名) 邑久光明園岡山県人会員 里帰り支援(3名)
3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施	史料の保全に関する要望	H16.7	H16年度重点要望
4 今後体制を整えた上でさらに行う取組み			
(1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施 自治会及び園当局の協力を得て、聞き取り調査を実施し、了解が得られる方の聞き取り調査結果については、啓発資料として活用すること	小冊子への体験談の掲載	通年	入所者の体験談を掲載した小冊子の活用
(2) 関連資料・史料の収集・蓄積 広く県民に対して関連資料の提供を呼びかけるとともに、歴史研究者の協力を得て、岡山県及び市町村保存資料等の調査・研究を進め、偏見・差別解消に向けた取組みの一環として、これらの調査・研究を通じて明らかにされる事実を題材として、県民に対する啓発を行うこと	岡山県ハンセン病問題関連史料調査委員会の開催  史料調査委員会による調査・研究  ハンセン病史料嘱託調査員を設置	H16.8.23 H17.3.23  通年  通年	第1回委員会 第2回委員会  史料調査専門員の現地調査及び史料分析の実施  史料調査専門員の指示に基づき史料の収集・整理

注) 1 印の意見書提言とは、平成14年3月20日「岡山県のハンセン病対策を振り返り正しい理解を進める委員会」から提出された意見書における提言のこと。  
2 は、健康対策課の実施事業